

12月定例会  
一般質問

村政を問う



8人の議員が登壇しました

一般質問とは……

定例議会において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり村当局の考え方や疑問をただすことです。  
また、議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。

Q 住宅政策の現状は

- ① 公営住宅の総数、入居戸数、耐用年数経過戸数の実態は。
- ② 民間業者の参入状況はどのようになっているのか。

A 民間業者の参入が円滑に進むよう補正計上した

▽地域整備課長

- ① 公営住宅総数157戸、入居戸数137戸、政策空家4戸、空家4戸。橋本団地と入山団地の12戸は取り壊す。13戸が耐用年数を経過している。
- ② 今年度、1社が参入に関心を示し、具体的な建築案が示されたところ。

再 Q 公営住宅の建替え計画の考えはないのか。



佐藤 孝雄 議員

Q 村長の四期目出馬は

三期目出馬の際、希望と魅力ある村づくりで平田村から元気を発信したいと抱負を述べた。こども園建設・産業活性化等、道半ばでの改選となるが、村民の審判を仰ぐ意思があるのか。

A 判断はこれから

▽村長

重要案件が相当残っており、ある程度の目途が立つまでやりたい気持ちはある。



高橋 七重 議員

Q 小中学校等の施設における暑さ対策は

- ① 小中学校等の教室や体育館等へのエアコン設置状況は。
- ② 暑さ対策としてのエアコン設置の考えはあるか。

A 各学校で対応している

▽教育課長

- ① 各教室にエアコンが設置されている。体育館には設置していない。



道の駅ひらた駐車場

**再**  
**Q** 観光拠点のひとつでもあることから、道の駅駐車場の拡張を、再度検討するよう要望する。

**A** 拡張は必要と考える

▽産業課長

- ① すでに終了。
- ② 道の駅出荷者や来客の確保、国道の渋滞解消、販売額頭打ちの打破のために、駐車場の拡張は必要と考える。

**Q** 道の駅駐車場拡張の考えは

- ① 今後も地方創生加速化交付金はあるのか。
- ② 現状の駐車場で運営していくのか。

近いうちに後援会の意見を拝聴し、相談したうえで表明していきたい。

**A** 危険箇所はない

▽教育課長

- ① 平成30年6月に各学校へ安全点検を実施する旨通知した。その結果、倒壊のおそれのある塀や建造物はないと確認している。また、児童生徒への安全教育の実施を併せて通知している。
- ② 通学路を含む村道等のブロック塀の点検も行った。旧小平駐在所のブロック塀を直ちに撤去している。
- ③ 各学校から、児童生徒への指導と保護者へ学校だより等で周知する。村から所有者に理解を求め、修繕や撤去等の対策をとる。

**Q** 通学路のブロック塀は安全か

- ① 公共施設のブロック塀の点検は行っているか。
- ② 通学路にある個人所有のブロック塀の点検は行っているのか。
- ③ 危険箇所が確認された場合、どのような対応を考えているのか。



② 体育館での授業は涼しい時間帯と授業を交換する等、各学校で対応している。



解体後



解体前

橋本団地(北方字橋本地内)

**再**  
**A** 公営住宅は、長寿命化に向けた対応を考えた。



阿部 清 議員

**Q 31年度予算は**

これまで、庁舎移転・統合中学校建設・こども園の着手等、村民の生活、暮らしの安全安心を柱に事業を行ってきた。今後は、村民の暮らしに係る新たな課題に取り組むべきではないか。

**A 希望の持てる**

**村づくりに努める**

▽村長

今ある事業を手厚くしていきたい。特に、農業の再構築を考えている。

▽総務課長

「平田村に生まれてよかった、住んでよかった」と思える希望の持てる村づくりを行う予算編成が必要と考える。

農業では、後継者対策、農業所得の向上の取組のための農業振興ビジョンの策定や、新規就農者の育成に努める。子育て支援では、妊娠から子育てまでの各種支援策の拡大を図る。また、空き家や公共施設等の利活用、定住人口の増加を図る。



佐藤 一 議員

**Q 教育長選任は早急に**

教育行政の根幹となるトップが決まらないことに、多くの保護者や教育関係者は不安を覚えている。他市町村と比較して劣ることのない教育行政を推進するうえからも、早急な教育長選任は最大の行政課題ではないか。

**A 適任者を検討中**

▽村長

教育課長が急逝した折に、こども園建設と年度末の教職員の異動期に入ることから、吾妻教育長を再任したいと考えていたが、高齢を理由に賛成できないとされ断念せざるを得なかった。教育長は、教育に造り深い方をお願いしたいと考えている。

**再** 人選をタイムリーに行うことが執行者側の筋。早急な人選をお願いする。

**A 再** 候補者がおり、慎重に検討している。



瀬谷 一男 議員

**Q 子供や保護者の不安解消を**

10月1日から教育長不在の状況が続いている。今後、教職員人事異動、中学3年生の進路選択、卒業式の式典が差し迫っている。教育長不在は異常事態である。この不安をどう解消していくのか。

**A 子供達に失望させない**

**教育行政をする**

▽村長

校長会に出席し、いろいろ話し合いした。前教育長の考え方をしっかりと受けた校長先生達から、今までに劣らない様な形の中でしっかりと対応していくという心強い言葉があった。教育委員とは、教育行政を次の教育長が決まるまでの間、しっかりと対応していただいように意見交換させていただいた。子供達に失望させることのないような教育行政をしていきたい。出来るだけ早く、後任にふさわしい方を選任したい。

**Q 公共施設に発電機の常備を**

緊急時の対応として、集会所での生活用水・照明・暖房・情報収集伝達等に必要な電源確保のため、公共施設や集会所に発電機を常備すべきではないか。

**A 各集会所に常備できるよう  
取り組みたい**

▽住民課長

平成31年度に地域防災計画を見直す。  
発電機の設置は検討すべき事項の一つであり、各集会所に常備できるように取り組みたい。



**再Q** 今後は太陽光発電を活用し、中長期に渡り整備することも提言する。

**Q 水田農業の確立を**

耕作放棄地は毎年増え、主たる農業者は高齢化の一途をたどり十年先の耕作の見通しは立っていない。水田農業の体系的な多様な取り組みを示すべき。経営者の声を聞きながらライスセンターの取り組みも考えるべきではないか。

**A 集落営農等を推進する**

▽村長

将来についての集落話し合いを進め合意形成できれば、調査費等の予算措置をするともに、集落営農等の推進に関する予算等も検討を進めている。

▽産業課長

産業としての農業と集落機能の維持を目的とした地域政策に努めているところ。農家や関係機関の意見をいただきながら、本村における営農ルール作りや村独自の農業振興ビジョンを策定し、お示しい。ライスセンターの整備も検討を始めたところがある。

**再Q** 農村景観を維持するうえからも、早めの対応をお願いする。

**Q 女性の就労場所確保の考えは**

約50年に渡り操業してきた永山産業が村から撤退したことは、女性の働く場を失い大きな損失である。若者定住を推進する上で、女性の就労場所確保は不可欠の課題。対処・支援の考えは。

**A 各企業等への働きかける**

▽総務課長

女性が多く働ける企業の誘致は、現在は厳しい状況。村内の企業でも従業員募集をしている状況もあり、さらに女性が働ける職場の確保に、各企業等へ働きかけを行っていきたい。

村外通勤の女性への支援については、現段階では厳しい。



女性の就労場所確保は不可欠の課題



永瀬 成元 議員

**Q 小中学校におけるいじめの実態は**

- ① いじめ発生件数は。
- ② いじめの内容は。
- ③ いじめによる不登校者はいるのか。
- ④ どのような対策をしているのか。

**A いじめはあるが重大な事態に至ったケースはない**

▽教育課長

- ① 中学校で17件。
- ② 冷やかしの、からかい、悪口や嫌なことを言われた、仲間はずれ、SNSによる誹謗中傷など。本人がいじめられたと訴えればいじめにカウントする。現時点では、重大な事態に至ったケースはない。
- ③ いない。
- ④ 定期的にアンケートを実施。生活ノートを利用して、児童生徒の日常の様子を把握し、いじめの早期発見に努めている。いじめた側・いじめられた側双方に対し、教諭・カウンセラー等が関わり対応している。また、各学校にいじめ防止対策委



三本松 和美 議員

**Q こども園建設の財源は**

- ① 平成32年度に完成予定のこども園建設の財源は、どのように考えているのか。
- ② 保護者等の駐車場確保はどのように対応するか。
- ③ 旧庁舎の裏側の敷地の利用計画は。
- ④ 一時保育も含め210人が入園できる施設計画だが、待機者ができる可能性はないか。
- ⑤ 土石流警戒区域について、県とどのように協議しているのか。

**A 過疎債と交付金で**

▽教育課長

- ① 過疎対策事業債と学校施設環境改善交付金を予定している。
- ② 職員駐車場と学校施設等の開放を検討している。
- ③ 職員駐車場、建物の一部は倉庫として利用する。
- ④ 十分受け入れ可能だが、新規転入や村外からの受け入れにより、待機者が出てくる可能性もある。



太田 清実 議員

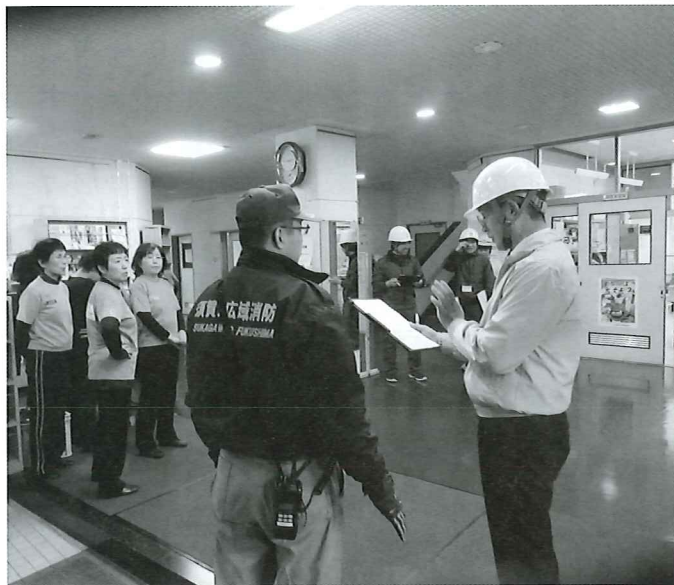
**Q 公共施設の方向性は**

廃校施設をいつまでも放置せず、前に進める努力をすべき。取り壊しも含め、早急に方向性を示すべき。公民館・保健センター機能は現在のまま進めていくのか。

**A 現在、検討中**

▽総務課長

こども園建設及び公共施設等跡地活用検討委員会からの提言をもとに、現在検討を進めている。旧西山小学校は、一時民間活用があったが今は撤退している。民間活用のため、ホームページ等への掲載を考えている。旧蓬田中学校は、耐震診断の結果から使用は難しい。取り壊しを含めた検討をしている。旧小平中学校についても、一部耐震工事が必要。校舎と体育館双方の活用も含め、検討している。小野高等学校平田校については、無償譲渡か解体し更地として利用するか、現在検討を進めている。保健センターは、役場庁舎近くにあることが利便性のうえでも必要であり、増改築も含めて、中央公



公民館で実施された避難訓練

員会を設置している。

**Q 災害時避難計画の取り組みは**

今後、防災計画を全面見直しすることだが、逃げ遅れによる人的被害を防ぐための避難計画については、どのような考えか。

**A きめ細やかに対応していく**

▽住民課長

平成31年度の地域防災計画に併せて、各行政区や各種団体等に対し、きめ細やかに会議を設ける。要配慮者も含めた防災対策を積極的に推進する。

▽地域整備課長

⑤ 警戒区域は、特別警戒

区域とは異なり開発行為や建築行為等に制約はなく、地域防災計画と避難体制の整備が求められる。そのため、地域防災計画の見直しに併せ、警戒避難体制の整備を図る。

また、県と合同により施設点検を毎年実施しており、本年度も異常がないことを確認した。



解体が進む旧役場庁舎(こども園建設予定地)

**Q 農業技術者確保の考えは**

以前は農業指導員が配置されていたが、現在はいない。現場で実績を上げている方に協力していただく体系確立が必要ではないか。

**A 重要な位置付け  
人材確保に努める**

▽産業課長

平成27年度以降も、関係機関に農業指導専門員の人材発掘をお願いしているが、確保できない状況。農業指導専門員の配置は、専門分野における重要な位置付けと認識している。今後も、引き続き人材確保について関係機関をお願いしていく。

民館との複合施設を提案する。

**Q 小中一貫校の考えは**

人口減少に伴う児童数の減少で、小学校も1校に統合されると予想される。長期的な総合ビジョンの考えに、小中一貫校の考えはあるのか。

**A あらためて検討**

▽教育課長

2つの小学校の校舎は、当分の間、十分に使用して行けることから、将来、小中一貫校が地域で求められるようになったとき、時代背景や課題なども含めて考慮したい。

**再 Q** 近い将来、子どもが少なくなるのは目に見えている。方向付けを考えていく必要がある、今後の検討課題としていただきたい。

